

2024年12月期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ キャッシュ・フローの状況	P.1
④ 配当の状況	P.1
⑤ 設備投資等の状況	P.1
⑥ 非資金項目	P.1
II 2024年12月期 実績	P.2
① 損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2025年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2025年2月7日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

※ 中期経営計画の利益面の計数指標としては、将来の導入品獲得に向けて、当面は研究開発投資を積極的に実施することから、研究開発費控除前営業利益を設定しております。

① 経営成績

(単位:百万円)	2023年12月期		2024年12月期		増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2025年12月期 予想 C	増減 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	A	B					
売上高	54,638	60,426	5,788	10.6		64,700	4,273	7.1	
営業利益	5,035	6,798	1,762	35.0		4,100	△2,698	△39.7	
経常利益	5,307	6,926	1,618	30.5		4,500	△2,426	△35.0	
当期純利益	4,119	5,042	922	22.4		3,400	△1,642	△32.6	
(参考)									
研究開発費	3,490	2,824	△666	△19.1		6,400	3,575	126.6	
研究開発費控除前営業利益	※ 8,526	9,622	1,096	12.9		10,500	877	9.1	
1株当たり当期純利益(EPS)	(円) 146.60	179.38	32.78			120.95	△58.43		
自己資本当期純利益率(ROE)	(%) 3.4	4.2	0.8						
総資産経常利益率	(%) 4.0	5.1	1.1						
売上高営業利益率	(%) 9.2	11.3	2.1						
総資産当期純利益率(ROA)	(%) 3.1	3.7	0.6						

② 財政状態

(単位:百万円)	2023年12月期		2024年12月期		増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B	A	B		
総資産	133,432	140,664	7,231	5.4		
純資産	120,134	121,533	1,399	1.2		
自己資本比率	(%) 90.0	86.4	△3.6			
1株当たり純資産(BPS)	(円) 4,274.45	4,323.33	48.88			

③ キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)	2023年12月期		2024年12月期		増減額 B-A
	A	B	A	B	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,123	3,639	6,763		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,779	△3,571	207		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,835	△3,944	△108		
現金及び現金同等物の期末残高	34,681	30,805	△3,876		

④ 配当の状況

(単位:百万円)	2023年12月期		2024年12月期		増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2025年12月期 予想 C	増減 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	A	B					
1株当たり年間配当金	(円) 120.00	120.00	0.00	—		120.00	0.00	—	
配当金総額(合計)	3,372	3,373	0	0.0					
配当性向	(%) 81.9	66.9	△15.0			99.2	32.3		
株主資本配当率(DOE)	(%) 2.8	2.8	0.0						

⑤ 設備投資等の状況

(単位:百万円)	2023年12月期		2024年12月期		増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2025年12月期 予想 C	増減額 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	A	B					
設備投資等の額	478	964	486	101.7		5,150	4,185	434.0	
有形固定資産	168	644	476	283.7		1,380	735	114.1	
無形固定資産	52	27	△25	△47.3		180	152	545.3	
長期前払費用	257	291	34	13.5		3,590	3,298	—	

⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2023年12月期		2024年12月期		増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2025年12月期 予想 C	増減額 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	A	B					
減価償却費	459	408	△50	△10.9		560	151	36.9	
長期前払費用償却費	685	752	66	9.7		710	△42	△5.7	

Ⅱ 2024年12月期 実績

※ 中期経営計画の利益面の計数指標としては、将来の導入品獲得に向けて、当面は研究開発投資を積極的に実施することから、研究開発費控除前営業利益を設定しております。

① 損益計算書

(単位:百万円)	2023年12月期	2024年12月期	増減額	増減率 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	54,638	60,426	5,788	10.6
製商品売上高	54,339	60,144	5,805	10.7
腎・透析領域	11,888	11,144	△744	△6.3
皮膚疾患領域	14,266	17,409	3,142	22.0
アレルギー領域	21,685	24,206	2,520	11.6
その他	6,498	7,385	886	13.6
その他の売上高	299	281	△17	△5.8
売上原価	29,847	33,719	3,872	13.0
製商品売上原価	29,786	33,659	3,873	13.0
その他の原価	60	59	△1	△2.1
売上総利益	24,791	26,707	1,915	7.7
販売費及び一般管理費	19,755	19,908	152	0.8
販管費(研究開発費除く)	16,265	17,084	819	5.0
研究開発費	3,490	2,824	△666	△19.1
営業利益	5,035	6,798	1,762	35.0
研究開発費控除前営業利益 ※	8,526	9,622	1,096	12.9
営業外損益	272	127	△144	
経常利益	5,307	6,926	1,618	30.5
特別損益	286	△200	△486	
税引前当期純利益	5,593	6,725	1,131	20.2
法人税等	1,473	1,682	209	
当期純利益	4,119	5,042	922	22.4

(参考) 売上高に対する比率

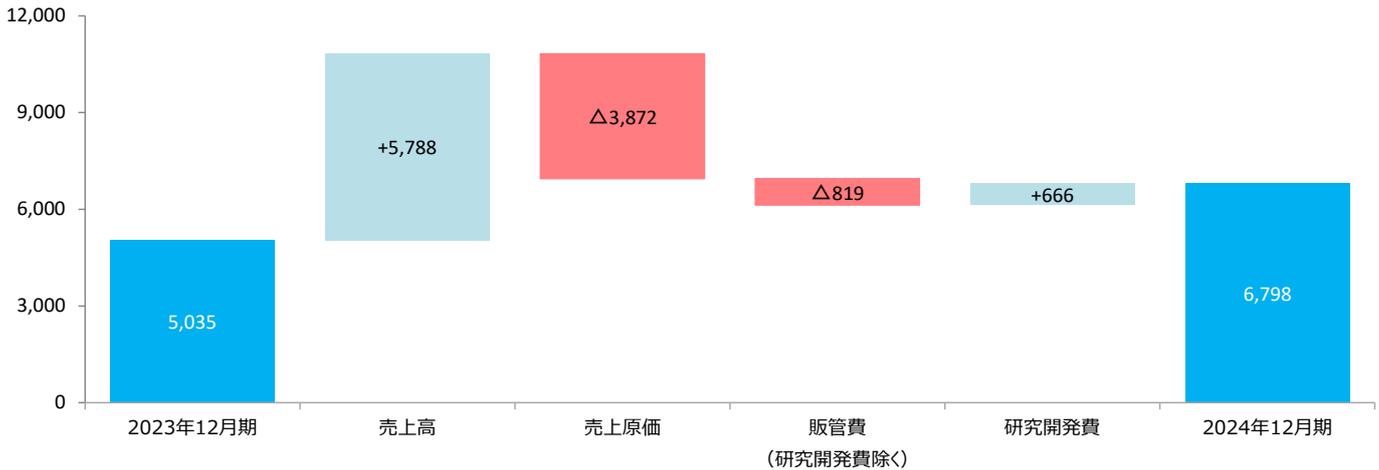
(単位:%)	2023年12月期	2024年12月期	増減
	A	B	B-A
売上原価	54.6	55.8	1.2
販売費及び一般管理費	36.2	32.9	△3.3
研究開発費	6.4	4.7	△1.7
営業利益	9.2	11.3	2.1
研究開発費控除前営業利益 ※	15.6	15.9	0.3
経常利益	9.7	11.5	1.8
当期純利益	7.5	8.3	0.8

【対前期増減要因】

営業利益 (6,798百万円 対前期+1,762百万円)

✓ 売上原価の増加があるも、皮膚疾患領域及びアレルギー領域の売上高増加により増収増益

(単位:百万円)



主な増減要因 (億円未満切捨て)

売上高	腎・透析領域 : 減収△7億円	レミッチ△13億円 (後発品、競合品及び薬価改定のマイナス影響) リオナ+6億円 (販売数量の増)
	皮膚疾患領域 : 増収+31億円	コレクテム+13億円、アンテベート+8億円 (販売数量の増) ロコイド+5億円 (薬価改定のプラス影響及び販売数量の増) ブイタマー+5億円 (2024年10月販売開始)
	アレルギー領域 : 増収+25億円	シダキュア+14億円、ミティキュア+10億円 (販売数量の増)
	その他 : 増収+8億円	ビオスリー+8億円 (販売数量の増及び薬価改定のプラス影響)
売上原価	販売数量の増加 為替影響による増加 仕入単価の上昇	
販管費(研究開発費除く)	売上連動経費の増加 新製品販売開始に伴う販売促進費の増加 システム関連費用の増加	
研究開発費	前期 Nogra Pharma Limitedとのライセンス契約に伴う一時金等支払 新規導入品等に係る開発費用の増加	

経常利益 (6,926百万円 対前期+1,618百万円)

営業外費用: 投資事業組合運用損の増加

+220百万円

当期純利益 (5,042百万円 対前期+922百万円)

特別利益: 前期における政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益

△349百万円

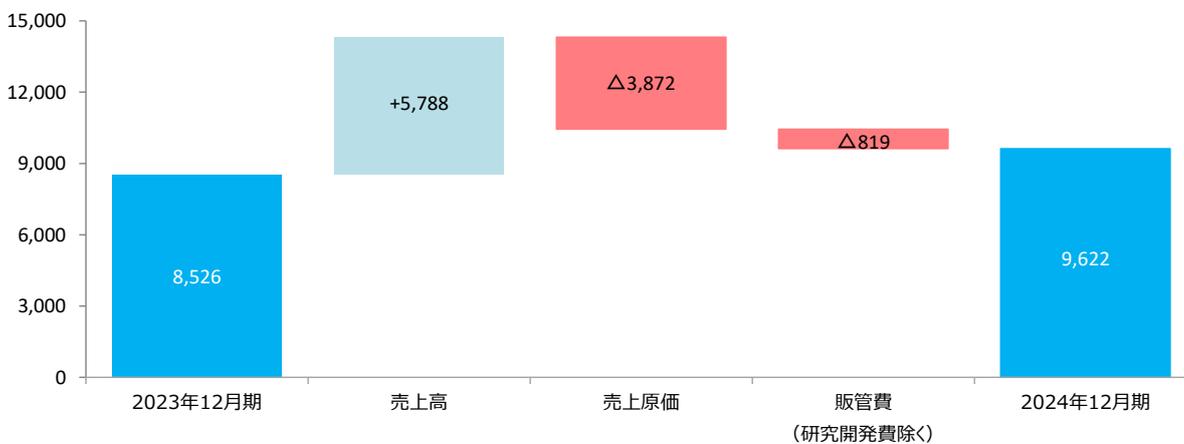
特別損失: 固定資産除却損の増加

+164百万円

【参考】

研究開発費控除前営業利益 (9,622百万円 対前期+1,096百万円)

(単位:百万円)



② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2023年12月期	2024年12月期	増減額	増減率 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A
製商品売上高	54,339	60,144	5,805	10.7
[腎・透析領域]				
リオナ錠 高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤	7,515	8,151	636	8.5
レミッチ 経口そう痒症改善剤	2,725	1,396	△1,329	△48.8
その他	1,648	1,596	△51	△3.1
計	11,888	11,144	△744	△6.3
[皮膚疾患領域]				
コレクチム軟膏 外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤	7,450	8,846	1,395	18.7
アンテベート ※ 外用副腎皮質ホルモン剤	4,533	5,381	848	18.7
ロコイド ※ 外用副腎皮質ホルモン剤	1,427	1,953	525	36.8
その他	854	1,228	374	43.8
計	14,266	17,409	3,142	22.0
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※ スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬	11,356	12,812	1,456	12.8
ミティキュア ダニ舌下錠 ※ ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬	10,148	11,241	1,092	10.8
その他	179	152	△27	△15.3
計	21,685	24,206	2,520	11.6
[その他]				
ビオスリー 活性生菌製剤(整腸剤)	4,041	4,845	803	19.9
オラデオカプセル 血漿カリクレイン阻害剤	1,546	1,774	227	14.7
その他	910	764	△145	△16.0
計	6,498	7,385	886	13.6

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2023年12月期	2024年12月期	増減	増減率 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A
自社品売上高	29,378	33,061	3,682	12.5
自社品比率 (%)	54.1	55.0	0.9	

③ 研究開発の状況

開発番号 一般名 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
皮膚疾患領域								
JTE-061 タピナロフ 「ブイタマー® クリーム」	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
TO-208	伝染性軟属腫	外用剤				申請		<ul style="list-style-type: none"> ・Verrica Pharmaceuticals Inc.と日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・Verrica Pharmaceuticals Inc. 開発番号:VP-102
TO-210	尋常性ざ瘡	外用剤	Phase I					<ul style="list-style-type: none"> ・Nogra Pharma Limitedと日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・Nogra Pharma Limited 開発番号:NAC-GED-0507
アレルギー領域								
TO-203 「ミテイキュア® ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK-Abelló A/Sと日本国内における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時（2024年10月31日）からの変更点

・2024年12月 TO-208（伝染性軟属腫）の国内製造販売承認申請（前回公表時：開発段階「Phase III」）

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2023年12月 ALK-Abelló A/Sとの間で、同社が保有する、イネ科花粉を原因抗原とする花粉症を対象としたアレルギー免疫療法（舌下免疫療法）薬の日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

Ⅲ 2025年12月期 業績予想

※ 中期経営計画の利益面の計数指標としては、将来の導入品獲得に向けて、当面は研究開発投資を積極的に実施することから、研究開発費控除前営業利益を設定しております。

① 損益計算書

(単位:百万円)	2024年12月期	2025年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績	予想		
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	60,426	64,700	4,273	7.1
製商品売上高	60,144	64,460	4,315	7.2
腎・透析領域	11,144	7,210	△3,934	△35.3
皮膚疾患領域	17,409	22,230	4,820	27.7
アレルギー領域	24,206	26,990	2,783	11.5
その他	7,385	8,030	644	8.7
その他の売上高	281	240	△41	△14.8
売上原価	33,719	36,200	2,480	7.4
売上総利益	26,707	28,500	1,792	6.7
販売費及び一般管理費	19,908	24,400	4,491	22.6
販管費(研究開発費除く)	17,084	18,000	915	5.4
研究開発費	2,824	6,400	3,575	126.6
営業利益	6,798	4,100	△2,698	△39.7
研究開発費控除前営業利益	※ 9,622	10,500	877	9.1
経常利益	6,926	4,500	△2,426	△35.0
当期純利益	5,042	3,400	△1,642	△32.6

(参考) 売上高に対する比率

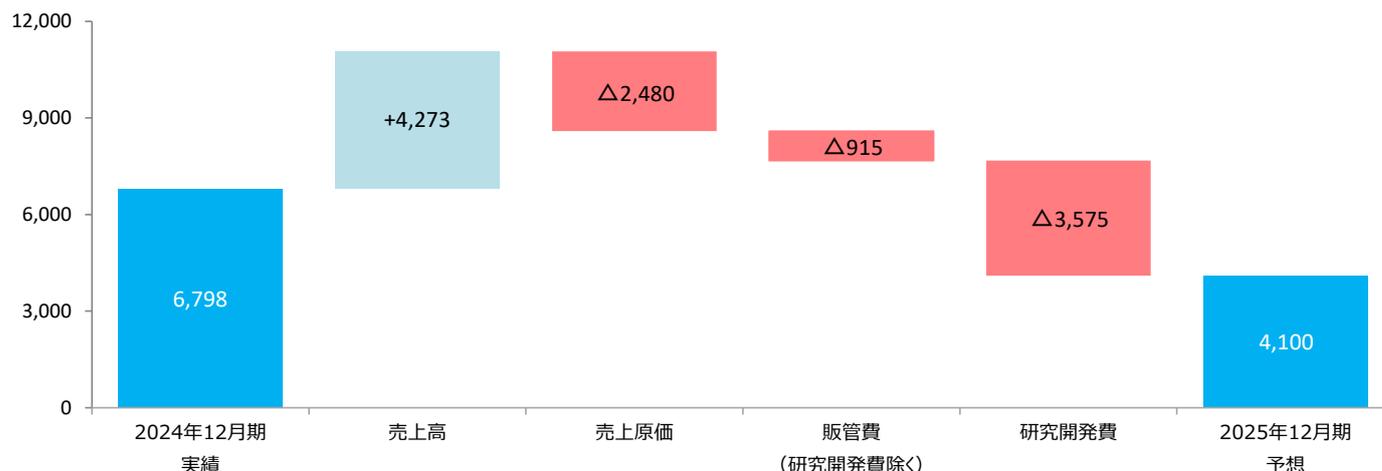
(単位:%)	2024年12月期	2025年12月期	増減
	実績	予想	
	A	B	B-A
売上原価	55.8	56.0	0.2
販売費及び一般管理費	32.9	37.7	4.8
研究開発費	4.7	9.9	5.2
営業利益	11.3	6.3	△5.0
研究開発費控除前営業利益	※ 15.9	16.2	0.3
経常利益	11.5	7.0	△4.5
当期純利益	8.3	5.3	△3.0

【対前期実績増減要因】

営業利益 (4,100百万円 対前期実績△2,698百万円)

✓ 皮膚疾患領域及びアレルギー領域の売上増加も、研究開発費等の増加により、増収減益の見込

(単位:百万円)



主な増減要因 (億円未満切捨て)

売上高	腎・透析領域 : 減収△39億円	リオナ△29億円 (後発品の上市見込及び薬価改定のマイナス影響) レミッチ△8億円 (後発品、競合品及び薬価改定のマイナス影響)
	皮膚疾患領域 : 増収+48億円	ブイタマー+40億円 (2024年10月販売開始) コレクナム+3億円 (販売数量の増)
	アレルギー領域 : 増収+27億円	シダキュア+16億円、ミティキュア+11億円 (販売数量の増)
	その他 : 増収+6億円	ビオスリー+4億円、オラデオ+3億円 (販売数量の増)
売上原価	: 販売数量の増加	
販管費 (研究開発費除く)	: 新製品販売開始に伴う販売促進費の増加 人件費の増加 システム関連費用の増加	
研究開発費	: 研究開発活動の進捗による増加	

経常利益 (4,500百万円 対前期実績△2,426百万円)

営業外費用: 投資事業組合運用損の減少 △237百万円

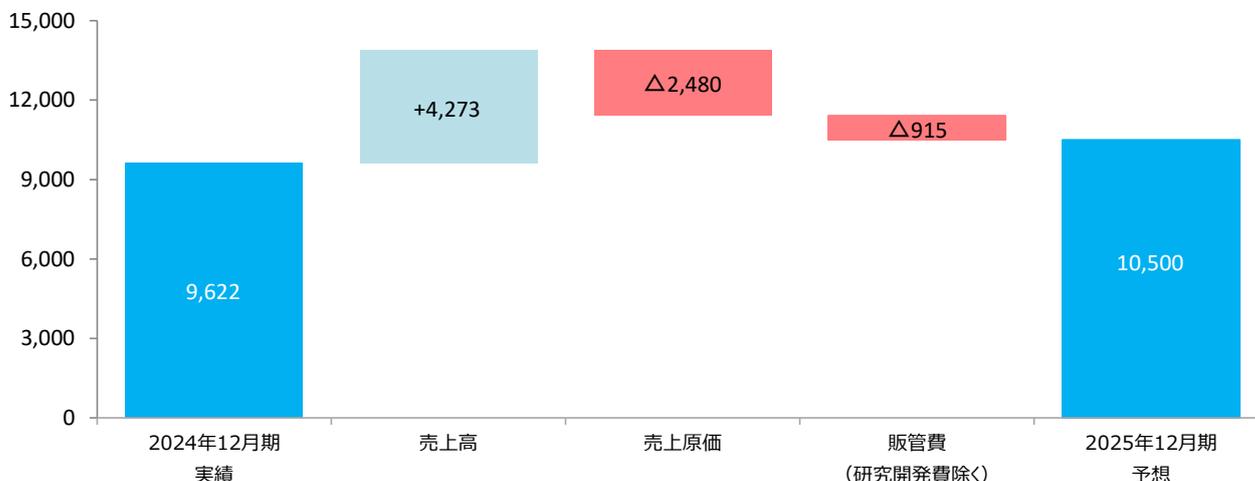
当期純利益 (3,400百万円 対前期実績△1,642百万円)

特別損失: 固定資産除却損の減少 △195百万円

【参考】

研究開発費控除前営業利益 (10,500百万円 対前期実績+877百万円)

(単位:百万円)



② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2024年12月期	2025年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績	予想		
	A	B	B-A	(B-A)/A
製商品売上高	60,144	64,460	4,315	7.2
[腎・透析領域]				
リオナ錠	8,151	5,200	△2,951	△36.2
高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤				
その他	2,992	2,010	△982	△32.8
計	11,144	7,210	△3,934	△35.3
[皮膚疾患領域]				
コレクチム軟膏	8,846	9,220	373	4.2
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
アンテベート ※1	5,381	5,620	238	4.4
外用副腎皮質ホルモン剤				
ブイタマークリーム ※2	510	4,580	4,069	796.3
アトピー性皮膚炎治療剤、尋常性乾癬治療剤				
ロコイド ※1	1,953	2,120	166	8.5
外用副腎皮質ホルモン剤				
その他	717	690	△27	△3.8
計	17,409	22,230	4,820	27.7
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1	12,812	14,510	1,697	13.2
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	11,241	12,350	1,108	9.9
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	152	130	△22	△14.7
計	24,206	26,990	2,783	11.5
[その他]				
ビオスリー	4,845	5,260	414	8.5
活性生菌製剤(整腸剤)				
オラデオカプセル	1,774	2,140	365	20.6
血漿カリクレイン阻害剤				
その他	764	630	△134	△17.6
計	7,385	8,030	644	8.7

※1 自社品

※2 「ブイタマークリーム」は2024年10月より販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2024年12月期	2025年12月期	増減	増減率 (%)
	実績	予想		
	A	B	B-A	(B-A)/A
自社品売上高	33,061	36,050	2,988	9.0
自社品比率	(%)	55.0	55.9	0.9